

## 令和4年度事業報告

### I 概要

国においては、2017年2月に策定した「ユニバーサルデザイン2020行動計画」に基づき、「心のバリアフリー」への理解促進を図るなどの共生社会の実現を目指していくための協議検討や具体的な取り組みが進められている。また、障害者差別解消法の一部改正がなされたことを踏まえ、社会的障壁の除去の実施に係る必要かつ合理的な配慮の取り組みや行政機関相互間の連携強化など支援措置を強化するための取り組みが進められている。

本会では、これら国の動向等を社会福祉法人日本身体障害者団体連合会（以下「日身連」という。）や茨城県等を通じ情報収集に努めながら、会員団体や日身連関東甲信越静岡ブロック協議会団体との意見交換・情報交換等を行った。

また、厚労省、国交省、内閣府など省庁の委員会等への参加要請に応じ、共生社会の早期実現が図られるようヒアリングや意見交換等に参画するとともに、国県等に対して政策要望を行った。

なお、事業の実施にあたっては、新型コロナウイルス感染症のまん延等の影響で、事業中止の判断を余儀なくされた事業や利用者が減少した事業が生じたが、動画配信による研修の実施やホームページでの情報提供など、コロナ禍においてもより事業効果があがるよう努めたところである。

### II 事業

#### 1. 障害者福祉バス運営事業

より多くの障害者の社会参加を促すため、障害者福祉バス運営事業を実施した。運行実績は、前年度より増となったが、新型コロナウイルス感染症の影響により、コロナ前よりやや低調となった。

		( )は前年度
運行状況	・乗車利用人員	2,076人(909人)
	・年間稼働日数	106日(51日)
	・年間走行距離	17,376km(7,022km)

利用内訳

( ) は前年度

障害別	利用人数 (人)
肢体障害者	43 ( 4 )
視覚障害者	104 ( 86 )
聴覚障害者	91 ( 71 )
内部障害者	2 ( 0 )
知的障害者	944 ( 239 )
精神障害者	227 ( 247 )
介護者	665 ( 262 )
計	2,076 ( 909 )

利用人数の推移

年度	年間利用人数	備考
平成30年度	4,100人	
令和元年度	3,263	R2.3月～ 新型コロナの影響で 利用が激減
令和2年度	384	
令和3年度	909	
令和4年度	2,076	

2. 身体障害者福祉活動推進事業

(1) 福祉活動推進事業

障害者に対する生活、医療、就労及び年金などの各種情報の収集・提供を行うとともに、関係機関等との連携のもと、障害者の自立と社会参加に向けた問題の解決に努めた。

(2) 福祉FAX設置・インターネットの活用事業

FAXを活用し、県障害福祉課や聴覚障害者福祉センター「やすらぎ」等との連携を図るとともに、インターネットやホームページを活用し、情報の提供や収集、県内外の関係機関との連絡調整・情報の交換などを行った。

FAX利用件数 879件 (受信 252件、送信 627件)

### (3) 広報事業

機関紙『いはらき身障福祉』73号、74号を発行し、会員団体や県内外の障害者関係機関及び関係団体に配布し、本会の活動状況等の情報提供に努めた。(主たる財源…共同募金配分金)

また、日身連が発行する機関紙『日身連』(月刊)を発行の都度会員団体及び本会役員に送付し、国などにおける障害者福祉に関する最新情報の提供に努めた。

### 3. 身体障害者福祉団体運営費補助事業

本会会員団体の運営並びに事業の円滑な推進を図るため運営費の補助を行った。(県補助基準1団体当たり35万7千円に加えて、本会から各10万円を上乗せ)

茨城県身体障害者福祉協議会	315,829円
茨城県視覚障害者協会	457,000円
茨城県聴覚障害者協会	457,000円
計	1,229,829円

### 4. 障害者社会参加推進センター運営事業

社会参加推進センターでは、地域の各障害者団体及び関係機関の代表により構成される「社会参加推進協議会」における運営協議に基づき、「ノーマライゼーション」理念の実現に向けた事業を展開した。

なお、新型コロナウイルス感染症のまん延等の影響により、「障害者福祉の集い」は事業中止の判断を余儀なくされたが、その他、協議会や研修会は開催方法を工夫して予定通り実施した。

#### (1) 社会参加推進協議会の開催

開催日	開催	内 容
令和4年6月 24日(金)	セキショウウエルビーイング福祉会館	・令和3年度事業実績報告 ・令和4年度事業計画
令和5年3月 3日(木)	セキショウウエルビーイング福祉会館	・令和4年度事業実績報告 ・令和5年度事業計画

## (2) 障害者福祉の集いの開催

令和4年10月6日(木)に、トヨペットスマイルホール大洗(大洗町民会館)で開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、開催を中止とした。

## (3) 障害者福祉団体リーダー研修会の開催

開催日	開催	内 容
令和5年 2月14日 (火)	セキショウ ・ウェルビー ーイング福 祉会館 コミュニテ ィホール	〔講演〕 ○本県の障害者福祉施策 (県障害福祉課) ・第2期新しいばらき障害者プラン ・障害者差別解消に係る茨城県の取組 (県福祉政策課) ・災害時における障害者の避難体制の取 り組み ○障害者関係団体の活動状況 とりで障害者協働支援ネットワーク ・取手市あいサポート運動の取組

## (4) 障害者週間啓発事業の実施

開催日	実施場所	内 容
令和4年 12月3日 (土)～ 9日(金)	セキショウ ・ウェルビー ーイング福 祉会館 ザヒロサワ シティ会館	・出入口への立看板の掲出 ・懸垂幕の掲揚 ・県主催啓発事業への参加 (ナイスハートふれあいフェスティバルに おける連合会長賞の授与等)

## 5. 関係障害者福祉団体等連携事業

### (1) 第67回日本身体障害者福祉大会ふくおか大会への参加

新型コロナウイルス感染症の感染状況等を踏まえてYouTubeによる録画配信がなされ、オンラインによる視聴を行った。

- ① 主催・担当団体 社会福祉法人日本身体障害者団体連合会  
公益財団法人福岡県身体障害者福祉協会  
社会福祉法人福岡市身体障害者福祉協会  
公益財団法人北九州市身体障害者福祉協会

② 開催方法

YouTubeによる録画配信

③ 内容

- 講演 東北大学公共政策大学院教授 御手洗 潤氏  
「パラリンピックのレガシーを活用した共生社会の実現」に向けて
- 日本身体障害者団体連合会会長表彰  
会沢隆典氏（当会副会長）ほか49名
- 大会宣言、大会決議

(2) 日身連関東甲信越静ブロック協議会会議等への参加

会議名	開催日等	会議内容	担当団体
団体長 会議	6月30日 ～7月1日 ホテルア ソシア静 岡	<ul style="list-style-type: none"> <li>・令和3年度協議会収支決算並びに令和4年度収支予算(案)</li> <li>・協議会における地区構成団体の見直し</li> <li>・各団体提案議題の協議及び情報交換</li> </ul>	静岡県身体障害者団体連合会
代表者 会議	10月20日 ～21日 アルカデ ィア市ヶ 谷	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日身連に提案する要望事項の協議</li> <li>・情報交換事項の確認</li> <li>・日身連理事定数改正に伴う協議会新地区代表者選出</li> </ul>	東京都身体障害者団体連合会
関ブロ 身体障 害者相 談員研 修会	11月11日 YouTube 録画配信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演 DPI日本会議事務局長 佐藤 聡 氏 「障害者差別解消法でインクルーシブな社会へ」</li> </ul>	埼玉県身体障害者福祉協会

(3) 関係省庁等との意見交換等

国の関係省庁や企業からの意見交換等の要請に対して、意見に対する回答を行ったほか、荻津会長が日身連役員としてオンライン会議に参加し、意見交換等を行った。

関係機関	オンライン会議、意見交換会、調査回答等
厚生労働省 社会・援護局	・ 障害者手帳の写真表示に関するヒアリング
厚生労働省 医薬・生活衛生局	・ 旅館業法改正説明会
国土交通省 関東運輸局	・ 移動等円滑化評価会議関東分科会 ・ 関東・駅の無人化に伴う安全円滑な駅利用意見交換会
国土交通省 総合政策局	・ 車椅子利用者駐車施設の適正利用リーフレットに対する意見聴取
国土交通省 鉄道局	・ 災害時における駅列車からの避難に関する調査 ・ 障害者の避難誘導ガイドライン作成意見交換会
国土交通省 住宅局	・ 民間賃貸住宅のバリアフリーに関するヒアリング
金融庁	・ 障害者団体と金融機関関係団体との意見交換会
NTT データ経営研究所	・ 障害を理由とする差別の解消に向けた事例の収集分析に係る調査に関するヒアリング
損保ジャパン（株）	・ 身体障害者の移動、交通、発災に関する調査

## 6. 相談員活動強化事業

茨城県身体障害者相談員連絡協議会との共催で行う身体障害者相談員中央研修会及び身体障害者相談員地区研修会について、新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、対面での開催に代えて YouTube 動画配信により実施した。

### (1) 講演の実施方法

中央研修会・地区研修会で依頼した専門家2名の講演を、それぞれ配信用に録画し、2種類の研修を動画配信した。

- 「傾聴の心構えについて」  
茨城県公認心理師協会副会長  
茨城大学人文社会科学部教授 正保 春彦 氏
- 「傾聴という方法について」  
茨城いのちの電話研修委員 守屋 英子 氏

## (2) 動画配信期間

いずれも、令和4年10月24日(月)～12月23日(金)

## 7. その他

### (1) 会議の開催

定例理事会 第1回 令和4年5月26日(木)  
第2回 令和5年3月17日(金)  
定時総会 書面協議により議案の決議がなされた。

### (2) 障害者作品展優秀作品の表彰

ナイスハートふれあいフェスティバル2022(障害者の文化祭)美術展に出品した絵画の部、書道の部、写真の部、陶芸・工芸の部の優秀作品に対し本会会長賞を授与し、表彰を行った。

### (3) 知事などに対する要望活動の展開

令和5年度の政策要望等として3つの要望事項について、茨城県知事に対し、令和4年12月9日(金)に関係福祉団体で構成する「県社会福祉予算対策委員会」を通じて要望書の提出を行った。

#### (要望事項)

- ・民間事業者が行う合理的配慮に必要な経費に対する市町村における助成制度の拡充について(新規)
- ・身体障害者相談員の確保について(継続)
- ・障害者福祉バスの更新等について(継続)

いばらき自民党政務調査会に対しても、8月29日(月)に同様の要望を行った。

### (4) 日身連収益事業に対する協力

本会の自主財源の確保を図るため、日身連収益事業所が行うカタログ販売事業について、協力支援を行った。